



歯のはなし

小学生・中学生・高校生の“むし歯”が30年前と比べ半分に

昨年行なわれた^{もんぶかがくしょう}文部科学省の調査によると、幼稚園・小学校・中学校・高等学校で「むし歯がある」もしくは「治療が完了した」児童・生徒の割合が、30年前（1980年）と比べて半分近くまで減っていることが明らかになりました。

この調査によると、「一度でもむし歯（治療完了も含む）にかかったことのある児童・生徒」が、幼稚園児では**全体の46.1%**、小学生は**59.6%**、中学生は**50.6%**、高校生では**59.9%**といった割合で、前年と比べてもそれぞれで低下しています。また、その中ですでに「むし歯の治療が完了した児童・生徒」の割合は、幼稚園が全体の18.4%、小学生が29.2%、中学生が28.0%、高校生が34.2%という内容でした。



また、中学生・高校生では「まだ治療していない生徒」よりも「治療が完了した生徒」の方が多く、逆に幼稚園・小学生では「まだ治療していない児童」の方が多かったようです。

児童・生徒のむし歯の割合の推移

(%)

		昭和55年	平成2年	平成12年	平成20年	平成21年	平成22年
幼稚園	合計	86.54	80.41	64.43	50.25	46.50	46.11
	治療完了	13.48	27.98	25.06	20.34	18.77	18.40
	未治療	73.06	52.44	39.37	29.91	27.72	27.71
小学校	合計	93.98	89.54	77.87	63.79	61.79	59.63
	治療完了	22.24	32.26	37.84	30.89	30.32	29.20
	未治療	71.74	53.28	40.03	32.90	31.47	30.44
中学校	合計	93.91	89.96	76.85	56.00	52.88	50.60
	治療完了	33.85	41.34	43.53	30.36	28.79	28.02
	未治療	60.05	48.62	33.31	25.64	24.09	22.58
高等学校	合計	95.90	93.65	85.03	65.48	62.18	59.95
	治療完了	32.58	45.82	49.73	35.99	34.73	34.21
	未治療	63.31	47.83	35.30	29.49	27.45	25.74



また、年齢別で見たところ「むし歯に一度でもかかったことのある（治療が完了した子も含む）子どもの年齢」で最も割合が高かったのは**“9歳で66.0%”**、次いで**“8歳の65.6%”**でした。8歳の場合は「治療していない子」の方が多く、9歳の場合は「治療が完了した子」の方が多かったそうです。逆に、割合が最も低かったのは**“5歳の46.1%”**、次いで**“12歳の47.5%”**、**“13歳の49.7%”**の順でした。

また、“12歳児”だけを調査した^{えいきゅうし}「永久歯のむし歯の数」は**“平均1.29本”**で、こちらも昨年より0.11本減りました。12歳児のむし歯の数は26年前（1984年）には4.75本ありましたが、それから毎年減少傾向にあります。

一方、児童・生徒がかかっている^{しつべい}疾病・異常の中で、最も多いのが**“むし歯”**でした。次いで^{らんがんしりょく}「裸眼視力1.0未満」となっています。